

作成日 2019年10月25日

改定日 2019年11月22日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名                    アクティブガスケット AG04  
 会社名                    株式会社アサヒ産業  
 住所                        埼玉県川口市朝日4-21-62  
 担当部署                 営業グループ 空調部  
 担当者名                 諸岡 厚志  
 電話番号                 048-227-5121  
 ファックス番号         048-227-5122  
 整理番号                 SDS2019-0003

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性                 : GHS分類に該当するデータなし  
 GHS分類に該当しない他の危険有害性       : 特になし  
 GHSラベル要素  
 絵表示                                         : 該当なし  
 注意喚起語                                   : 該当なし  
 危険有害性情報                             : 該当なし  
 注意書き                                     : 該当なし

### 3. 組成及び成分情報

(ガスケット)

単一製品・混合物の区分        混合物

一般名                                        NBRと無機成分の混合発泡体

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料 : アクリロニトリル・ブタジエン共重合物	9003-18-3	40
添加物 : アルミナ (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	1344-28-1	20
添加物 : タルク	14807-96-6	18
添加物 : メルカプトベンゾチアゾール	95-16-9	3
添加物 : リン酸ジフェニルクレジル	26444-49-5	5
添加物 : アゾジカルボキサミド	123-77-3	5

添加物 : 流動パラフィン	8042-47-5	8
添加物 : ペンタエリトリトールテトラステア レート	115-83-3	1

(粘着剤)

単一製品・混合物の区分 混合物

一般名 アクリル粘着材

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料 : アクリル酸エステル系共重合体	—	39～41
付加物 : 酢酸エチル	141-78-6	37～39
付加物 : トルエン	108-88-3	21～23

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)

アクリル酸エステル共重合体 ; 法令指定番号 : 4 ( > 1%)

トルエン・酢酸エチル ; 法令指定番号 : 177 ( > 1%)

(りけい紙)

単一製品・混合物の区分 混合物

一般名 紙

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料 : セルロース	—	60.3
表面材 : 低密度ポリエチレン	9002-88-4	38.5
表面材 : 珪素化合物 (シリコーン)	—	1.3

#### 4. 応急措置

吸入した場合 : 通常の使用で吸入することはない。但し加熱または燃焼などによって生じるガスを吸入した場合は直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。その後異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 常温では無害。高温溶融状態では火傷を起すため、患部を多量の清浄な水で洗い、冷やした後火傷の応急処置をする。  
: 溶融状態の粘着材が皮膚に付着した場合、洗浄後火傷に対する措置を行なう。衣類が皮膚に貼りついている場合、無理に剥がしてはならない。必要によって医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗浄し、症状によっては眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を継続する。

飲み込んだ場合 : 極力吐き出させた後、水で口の中を洗浄し、症状によっては医師の診  
アクティヴガスケット AG04 ; 株式会社アサヒ産業 ; SDS2019-0003 ; 2019.10.25 ; 2/6

---

## 5. 火災時の措置

- 適切な消化剤 : 消化器（粉末・泡沫・炭酸ガス）、防火砂、大量の水
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガス（アセトアルヒド、CO、CO<sub>2</sub>など）を発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 不完全燃焼時には、黒煙が発生するので、閉鎖された場所における消火にあたっては、酸素ボンベ等の呼吸に必要な酸素を供給することができる装備をした上で消火作業を行なう必要がある。
- 消火を行なう者の特別な保護具及び予防措置 : 呼吸用保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 鼻や口からの摂取、眼に入らないように留意する。
- 保護具及び緊急措置 : 特に保護具などは必要ない。
- 環境に対する注意事項 : 環境においては長期間分解せず、環境汚染の原因となるため、河川などに放出しない。海洋生物、鳥類が誤って食べることがあるので、いかなる海洋や水域にも投棄、放出をしてはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 地面や床面に落ちた場合、足下を滑らせる危険があるので、速やかに掃き集める。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱いや設備での注意 : 禁煙、周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- 保管上の注意 : 指定可燃物（合成樹脂類）に該当するため、火気厳禁。雨水などがからないように注意する。直射日光、白熱灯や水銀灯等高温や強い紫外線を出す照明の近くには、保管しない。また、保管場所は施錠して保管する。
- 概要 : 適切な取扱いを行なう限り、人体に悪影響を及ぼしたという報告は、これまでにない。
- 毒性 : 適用されず。
- 人体への影響 : アレルギー体質の方は、接触により皮膚障害を起す可能性あり。必要に応じて、触れた箇所を石鹸にてよく洗浄する。症状によっては医師の診断を受ける。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度（アクリル樹脂系粘着材）

: エチルアセテート 400ppm  
 : トルエン 100ppm

許容濃度 (日本産業衛生学会)

: エチルアセテート 200ppm(720mg/m<sup>3</sup>)  
 : トルエン 50ppm(188mg/m<sup>3</sup>)  
 (ACGIH) : エチルアセテート 400ppm(1440mg/m<sup>3</sup>)  
 : トルエン 50ppm(188mg/m<sup>3</sup>)

設備対策 : 通常の手扱ひでは、問題ない。  
 保護具 : 通常の手扱ひでは、必要ない。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : やわらかい固体  
 色 : 黒色 (ガasket)  
 臭い : わずかな臭気  
 融点 : データなし  
 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 77.1℃ (エチルアセテート)  
 可燃性 : 難燃性  
 引火点 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 pH : 該当しない  
 溶解度 : 水に不溶  
 蒸気圧 : 95mmHg[25℃] (エチルアセテート)  
 粒子特性 : データなし  
 比重 (相対密度) : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の手扱ひにおいては安定である。  
 化学的安定性 : 一般的な貯蔵・手扱ひにおいては安定である。  
 危険有害反応可能性 : 一般的な貯蔵・手扱ひにおいては安定である。  
 避けるべき条件 : 高温に曝されると、分解し可燃性ガスを発生する。  
 混触危険物質 : 火気に近づけない。  
 危険有害な分解生成物 : 燃焼時によりCO、CO<sub>2</sub>、NOX等の有害ガスが発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 乾燥後微量残留物のため知見無し (エチルアセテート、トルエンとして)

皮膚腐食性／刺激性	： 知見なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 眼以外に鼻、喉を刺激する事がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	： 知見なし
生殖細胞変異原性	： 含有するエチルアセテートは変異原性あり（人遺伝子へ、影響する可能性あり）。
発がん性	： 知見なし
生殖毒性	： 知見なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 知見なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 知見なし
誤えん有害性	： 知見なし

## 1 2．環境影響情報

生態毒性	： データなし
残留性・分解性	： データなし
生態蓄積性	： データなし
土壌中の移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： データなし

## 1 3．廃棄上の注意

廃棄の方法	： 各自治体の条例に従って焼却などの処理を行なう。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
-------	--

## 1 4．輸送上の注意

注意事項	： 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。水漏れ、高温放置、直射日光を避ける。
米国の道路・鉄道法令情報	： 該当しない
国際海上（IMDG）	： 該当しない
国際航空（ICAO/IATA）	： 該当しない

## 1 5．適用法令

消防法 指定可燃物（合成樹脂類）	： ガasket
消防法（危険物第四類第一石油類）	： 粘着剤
東京都火災予防例第34条	： ガasket
労働省平成9年指針告示7号物質	： 粘着剤
労働安全衛生法 名称などを通知すべき危険物及び有害物	： カーボンブラック
第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）	

作業環境評価基準（法第65条の2第1項）

各名称を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9）

各名称を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号、別表第9）

：酢酸エチル並びにアクリル酸ノルマルブチル、トリレンジイソシアネート

化審法 優先評価化学物質（法第2条第5項）

：酢酸エチル並びにアクリル酸ノルマルブチル、トリレンジイソシアネート

---

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

### 【参考文献】

- 1) 火災防止の手引き「ウレタンフォーム工業会発行」
- 2) 化学物質の危険、有害便覧（中央災害防止協会編）
- 3) 産業中毒便覧（医歯薬出版）
- 4) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
- 5) 危険物船舶運送及び貯蔵規制化審法
- 6) 既存化学物質ハンドブック
- 7) 株式会社 住化分析センター他、研究報告
- 8) 厚生省環境衛生局 食品化学化編（講談社）
- 9) 作業環境評価基準・労働安全衛生広報（95.5.15）
- 10) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成基準（JIS Z7253:2019）